

プロジェクト 基準諮問会議

項目 第 21 回基準諮問会議（平成 26 年 7 月 10 日開催）に関する報告

## 1. テーマ提言について

## (1) 新規テーマの提言を行うこととなったテーマ

1. 今回の基準諮問会議において、新規テーマの提言を行うこととなったものはない。

## (2) 基準諮問会議で引き続き検討することとなったテーマ

2. 引き続き、基準諮問会議で検討することとなったテーマは、以下のとおりである。

## (会計基準レベル)

当初提案	項目	対応
第 17 回	継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発について	現在、事務局において対応を検討中である。
第 21 回	金融商品会計における上場関係会社株式の減損の取り扱いについて	今回の基準諮問会議における提案であり、今後、事務局において整理を行うこととした。

## (実務対応レベル)

当初提案	項目	対応
第 20 回	加速型自社株買い（ASR: Accelerated Share Repurchase）の会計処理	実務対応専門委員会におけるテーマ評価は、「日本において取引が実行された事例はないため、現時点においては企業会計基準委員会（ASBJ）の新規テーマとすることは困難であると考えられ、当面、当該取引の進展の状況を見守るべきと考えられる。」とのことであったが、基準諮問会議の委員より、事例がないため取り上げないとするのは適切ではないなどの意見が聞かれ、次回の基準諮問会議で引き続き検討を行うこととなった。
第 21 回	総合型厚生年金基金の特例解散における会計処理 厚生年金基金の代行部分に関する前納の会計処理	今回の基準諮問会議における提案であり、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼することとなった。

	権利確定条件付きで従業員等に有償で発行される新株予約権の企業における会計処理	
--	--	--

### (3) テーマ提言しないこととなったテーマ

3. ASBJ の新規テーマとして提言せず、基準諮問会議で保留するテーマとなったテーマは、以下のとおりである。

#### (会計基準レベル)

当初提案	項目	対応
第 18 回	完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理	実務対応専門委員会の評価の結果を踏まえ、新規テーマとして提言しないこととした。

#### (実務対応レベル)

当初提案	項目	対応
第 16 回、 第 17 回	リストラクチャリングに関連する引当金、早期割増退職金の会計処理	ASBJ からの報告を踏まえ、新規テーマとして提言しないこととした。
第 20 回	指定国際会計基準を任意適用している会社において、親会社が子会社を吸収合併する際に子会社から受け入れる資産及び負債の適正な帳簿価額の考え方	実務対応専門委員会の評価の結果を踏まえ、新規テーマとして提言しないこととした。

## 2. ASBJ の活動状況について

4. ASBJ より前回の基準諮問会議（平成 26 年 3 月 18 日）以後の活動の状況の報告を受けた。その報告に関連して、基準諮問会議の委員より以下のコメントがあった。
- EFRAG 及びイタリアの会計基準設定主体と共同して出されるディスカッション・ペーパーは、どのような位置づけのものか。
  - リース会計について、今後、どのように IASB に対して働きかけを行っていくか。
  - 税効果会計専門委員会では、今後どのようなスケジュールで検討を行っていくか。

- IFRS のエンドースメント手続は非常に重要であり、我が国の意見をしっかりと発信して欲しい。
- IFRS のエンドースメント手続に関する会計基準の名称はどのようなものになるか。

以 上